

荣誉あるラウダ

「ラウダ」とは、預言者マシッドの前方にある、預言者ムハンマドの家と説教壇までの間の場所のことです。ムスリム(イスラーム教徒)にとっては徳ある特別な場所です。使徒ムハンマド様(祝福と平安あれ)の時代には、その後ろに旅人や貧者のための生活スペースがあって、彼らは“スッファの人々”と呼ばれていました。



預言者の部屋

預言者ムハンマド様(祝福と平安あれ)の身体が埋葬されている場所のことです。その両側には重鎮の教友二人も埋葬されています。アッラーの使徒は、マシッドに隣接していた彼の家に埋葬されましたが、後にマシッドの拡張に伴いマシッドの境界内に入りました。



緑のドーム

緑のドームは、預言者ムハンマド様(祝福と平安あれ)が埋葬されている場所の真上に位置しています。写真の後ろにあるのは、数千人もの預言者の教友たちが埋葬されているバキウ墓地です。



預言者モスク

世界で最も大きなマシッド(英語ではモスク)の一つで、イスラームにおいては二番目の聖地とされているのが、預言者ムハンマド様(彼に祝福と平安あれ)が建設したマシッドです。それは西暦622年にマディーナ・ムナワラ(光り輝くの意)に彼が移住した際、彼の家そばに建てられました。その土地は、もともと二人の孤児が所有しており、ナツメヤシの実を乾燥させる場所として使っていました。彼ら二人から預言者は土地を買い取り、ナツメヤシの葉や幹を使ってマシッドを建てました。(当初は)50m四方くらいの大きさで、一部分のみが屋根で覆われていたようです。そして最後尾の場所には旅人や、貧者のための休息の場が設けられていました。



上空から撮られた預言者マシッドを見てみよう

17

礼拝告知者の数

333.327

平方メートル

広場を含めたマシッドの面積

10

マシッドのミナレット

1

マシッドとその広場で祈る数百万人もの人々

